

そう だい
総 題 「イザヤ」

だいじゅつか
第10課 「信じえないこと」を行う

たけだ まさや
武田 将弥

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

ちゅうごくじん
中国人のクリスチャンであるラフ・フックさんは、アフリカで奴隷として働いている人たちに、神様の言葉を伝えたいと考えました。フックさんはアフリカへ行って自分も奴隷になりました。奴隷として苦しんでいる人たちと一緒に過ごしながら、神様のことを伝えてみんなを励まし続けたのです。残念ながらフックさんは死んでしまいましたが、奴隷だった仲間たちから200人くらいの人たちが、イエス様のことを知ってクリスチャンになったのです。何ということでしょうか！ フックさんは他人の幸せのために、自分の人生や命を犠牲にささげました。普通では考えられないとても深い愛を、どうしてフックさんは持つことが出来たのでしょうか？ 理由は、フックさんが自分よりも、もっと深い愛をもった方と出会うことが出来たからなのです。深い愛を持った方は一体誰でしょうか？ もう皆さんはお分かりだと思いますが、深い愛を持った方はイエス様です。

イエス様はもともと人間ではありません。天使をも超える存在の、神様の一人息子なのです！ しかし神様の姿のままでは、罪を持った私たち人間とは直接、お話をしたり一緒に過ごしたりは満足に出来ません。人を救うために、イエス様は自分から人間になることを選んで、この地上に生まれて来てくださったのです。そしてイエス様は私たちに神様のことや天国のことなどを教えてくださいました。フックさんはイエス様のおかげで希望を持てたので、自分も受けたその喜びを、他の人たちにも感じて欲しいと願ったから出来たのです。

に ちちうび しけんしんり
2. 日曜日：試験真理

げんだいしゃかい せいしかつ わたし ぶんか ひと ぼうりよく ふ
現代社会で生活している私たちの文化では、人に暴力を振るうことはいけないことだと思っ
すし、やられたらやり返すという復讐もしてはいけないと考えています。しかし時代や地域によって、
ぶんか かんが かつ いろいろ か むかし きんとうぶんか めいよ まも だいじ
文化の考え方は色々変わってきます。昔の近東文化では名誉を守ることはとても大事なことでした。
だれ ぶじよく ばあい じぶん かけ いのち うば かくご ひつ
もし誰かを侮辱する場合、自分もやり返されたり、命を奪われたりするかもしれないという覚悟が必

要ようでした。しかし聖書せいしよには、どんなひどい仕打ちしうちを受けても、絶対ぜったいにやり返かえしたりはしないで、ひたすら耐たえ続けるイエス様の姿すがたが描えがかれています。

※1 侮辱する：ばかにする

3. 月曜日：苦難の僕の詩

預言者よげんしゃのイザヤは、メシアきゆうせいしゆ（救世主）の事を教おしえています。説明せつめいによるとメシアはダビデの家系かけいから生まれて、多くの人を癒やして救うけれども、無実の罪で死ぬことになると預言されています。そしてイザヤ書5 2：1 3～5 3：1 2は「苦難の僕の詩」と呼ばれる有名な聖句ですが、この部分を読むと十字架にかかるイエス様の場面がイメージとして湧いてきます。イエス様は「あなたたちは聖書の中に永遠の命があると考かんがえて、聖書を研究している。ところが、聖書はわたしについて証しをするものだ。（ヨハネによる福音書5：3 9）」と言われました。ようするに預言者のイザヤは、イエス様こそがメシアきゆうせいしゆ（救世主）であると教おしえているのです。

4. 火曜日：だれが信じえようか

イザヤ書は救世主である「人の子（イエス様）」は、面影が無くなるほどボロボロになると説明されていますが、これはムチで打たれたり、いばらの冠かんむりや十字架に釘で打たれたりしたからだけではありません。表面的なダメージよりもむしろ、わたしたちの罪を代わりに引き受けてくださったことにより受けた、※2 目に見えない内面的（霊的）なダメージが凄まじかったのです！ それこそ主の心臓が破裂してしまうほどに…。

※2 目に見えない内面的（霊的）なダメージが凄まじかった：内臓や心の傷がズタズタになるほど大きかった

5. 水曜日：罪に沈む者たち

当時の人たちのほとんどは「きっとイエス様は世界を救ってくれるにちがいない！」と思っていたのに、十字架にかかっているイエス様を見てガッカリと失望したことでしょう。なぜなら、もしメシア（救世主）であれば、十字架という※3 不名誉な方法で死刑にされるはずがないと思っていたからです。しかし私たちは、みんなが「やっぱりこの人は違ったんだな…」と見放したイエス様こそが、※4 正真正銘のメシア（救世主）であることを知っています。聖書によると本物のメシア（救世主）は、私たちを救うために自分の意志で苦難の人生を選ばれるのです。

※3 不名誉な：みじめな

しょうしんしょうめいほんもの
※4 正真正銘：本物

ろくもくようびつぐないささげもの
6. 木曜日：償いの献げ物

せいしょおしひとたいなにわるぼあいあいてつぐない
聖書の教えによると、もし人に対して何か悪いことをしてしまった場合、ちゃんと相手に※5 償いをしてから、神様に罪を赦していただく印として、捧げ物をしなくてはなりません。旧約聖書の時代は「オスの小羊」を捧げ物としていましたが、今から2000年前に本物のメシア（救世主）であるイエス様が「償いの捧げ物」として、神様から赦していただく印になってくださったのでした。

つぐないあいてあやまかねしなものわたこころわ
※5 償い：相手に謝ってお金や品物を渡して、心からのお詫びをすること

ななきんようびけんきゅう
7. 金曜日：さらなる研究

おかつみのろにんげんどりよくけできつみけ
アダムとエボカ※6 犯した罪の呪いは、人間がどんなに努力しても消すことが出来ません。罪を消すことが出来なければ人間は永遠に救われることが出来なくて苦しむことになってしまうのですが、神様は人間が負いきれない罪を、※7 自分が代わりに負うことによって、私たちの罪を消してくださるのです。ここに神の大きな愛があります。

おかつみのろかみやくそくやぶつみちじょうおわざわふこう
※6 犯した罪の呪い：神さまとの約束を破った罪が地上に起こした災いや不幸

じぶんかおじゅうじか
※7 自分が代わりに負うこと：十字架にかかること

ふかえしつもん
★振り返りの質問★

しよごじゅうさんしょうよさまじゅうじかむいようすそうぞう
イザヤ書の53章を読んで、イエス様が十字架に向かって行った様子を想像してみてください。そして神様に対する感謝の気持ちが高湧いてくることを確認し、今までに経験した証しなどがあれば誰かと分かち合ってください。